

2025年12月26日

各 位

会社名 SBIグローバルアセットマネジメント株式会社

(コード番号 4765)

(上場取引所 東京証券取引所 プライム市場)

代表者 代表取締役社長 朝倉 智也

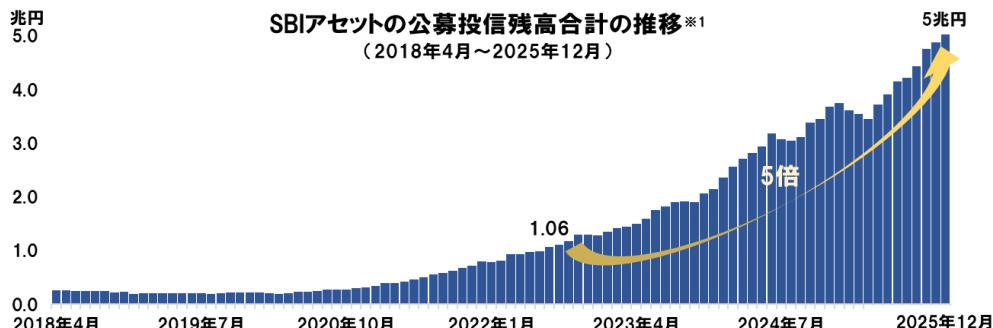
開示責任者 常務執行役員 CFO 小笠原 靖行

SBIアセットマネジメントの運用する公募投信の純資産は5兆円突破 1兆円から3年半で5倍に、SBI岡三・レオス含む3社で8兆円、業界8位へ

当社子会社のSBIアセットマネジメント株式会社（以下「SBIアセットマネジメント」）が設定・運用しております公募投資信託の純資産残高合計が5兆円を突破しましたのでお知らせいたします。

SBIアセットが設定・運用する公募インデックスファンドは、2.5兆円を超える純資産残高を有する「SBI・V・S&P500インデックス・ファンド」を含め、3.1兆円を超過している米国株式投資型インデックスファンドに加え、「SBI・全世界株式インデックス・ファンド」などの全世界株式及び「SBI・iシェアーズ・インド株式インデックス・ファンド」などの新興国株式に投資を行うファンドなど、インデックスファンドを中心に残高を拡大してきました。

アクティブラボファンドにおいても、「SBI日本高配当株式（分配）ファンド（年4回決算型）」や「SBI欧洲高配当株式（分配）ファンド（年4回決算型）」など、多様な地域に投資を行うファンドとともに、「成長」と「分配」を追求する年4回決算型シリーズも16ファンドを提供しています。また2,530億円に到達した「SBI・iシェアーズ・ゴールドファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）」、「SBI-Manリキッド・トレンド・ファンド」及び「SBIオルタナティブ・ハイインカム・セレクト・ファンド（年4回決算型）」などのオルタナティブ投資型、「SBI次世代テクノロジー戦略ファンド」といったテーマ型ファンドの設定も進め、ご投資家の皆さまの様々なニーズにお応えする品揃えの拡充を進めており、各ファンドも順調に資産残高を伸ばし、2022年7月の1兆円超えから3年半足らずで5倍に拡大しました。



またSBIグローバルアセットマネジメント・グループでは、SBI岡三アセットマネジメント株式会社が設定・運用する「ROBOPROファンド」は設定来2年弱で純資産2,200億円を、「外貨建MMF（米ドル）」が設定来10カ月で700億円を突破するなど、2022年12月のSBIグループ入り以来、SBIとのシナジーを活かして2倍超の運用残高拡大となり、1兆8,259億円の公募投資信託を運用しております。

また、2025年12月1日のSBIレオスひふみ株式会社との合併により当社の子会社となったレオス・キャピタルワークス株式会社の、1兆円を突破したひふみ投信マザーファンドをはじめとする公募投資信託残高の1兆3,566億円を合わせたグループの公募投資信託残高は8兆1,756億円※2を超えて、グループとしては業界8位※3に匹敵する残高になるなど、グループを挙げて投資家の皆さまの多様なニーズにお応えする商品を提供することで広くご支持をいただいております。

SBIグローバルアセットマネジメント・グループ各社は、今後も「顧客中心主義」のもと、良質かつ低コストの運用商品を提供することにより、投資家の皆さまの最適な資産形成に貢献してまいります。

以上

※1: SBIアセットの残高推移は、合併前のSBIグループ（SBIアセット、SBI地方創生、SBIボンド・インベストメント）の残高を含む。

※2: SBIグローバルアセットマネジメント・グループのSBIアセット以外の各社残高及びグループ残高合計は2025年12月25日現在。

※3: 投資信託協会公表情報（2025年11月末現在）を基にSBIアセットマネジメントが調査。※公募投資信託残高は外国投信を除く金額

*****【本件に関するお問い合わせ先】*****

SBIグローバルアセットマネジメント株式会社 管理本部 電話:03(6229)0812 メールアドレス: sbigam@sbiglobalam.co.jp
SBIアセットマネジメント株式会社 商品企画部 電話:03(6229)0170

(金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第311号、加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会)